



## 外来診療案内 【受付時間】午前 8:30~11:00 午後 13:00~15:00 【診療時間】9:00~17:00

【診療科】

2026年4月現在

科名・専門外来名	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
リハビリテーション科 (ボツリヌス外来)	吉野		加世多		吉野		影近	影近	高橋	浅野
内科	白田		白田 木倉		白田 飯田		白田 今村(循環器) 木倉		木倉 泉	
脳神経内科				小西		古田	小西	服部		
整形外科 (手足の外科外来)	橋本 瀬川		橋本 瀬川		高田	高田	橋本		橋本 瀬川	
脳神経外科 痙縮(ITB)外来ペインクリニック	宮森		中島		宮森			中島 柴田	宮森	
泌尿器科					交代制	交代制	横山	横山		
精神科			永井			森			麻生	麻生
皮膚科			片岡							
眼科										②④豊田
耳鼻咽喉科			浅井				①②④麻生 ③藤坂			
歯科	小倉	小倉	小倉	小倉	小倉 中條	小倉	小倉	小倉	小倉	小倉
糖尿病外来 (内科)			白田	白田 ①③⑤岡部	白田	白田				
甲状腺外来 (内科)			白田	白田 ①③⑤岡部	白田	白田				
嚥下外来(内科)					(週週)木倉					
腎臓・高血圧外来(内科)					飯田					
パーキンソン病外来(脳神経内科)								服部		
高次脳機能外来(脳神経外科)								柴田		
小児科(小児整形外科)	峰松 森下	峰松	峰松		森下		森下	森下	森下	森下
小児科(小児神経科)	本郷 平岩 倉本 宮森 松澤 五十嵐	畑崎 倉本 宮森 五十嵐	本郷 松澤 宮森 倉本 五十嵐	本郷 山谷 松澤 宮森 五十嵐	倉本 宮森 松澤 平井	本郷 ②④岡田 宮森 松澤 平井	本郷 松澤 宮森 倉本 平井	本郷 松澤 宮森 倉本 五十嵐	倉本 宮森 五十嵐	
てんかん外来(小児神経科)	本郷		本郷	本郷			本郷			
子どもの心の外来(精神科)	永井		森 永井	森	森 永井	永井	森	森 永井	森 永井	森 永井

※完全予約制となっている診療科もありますので、事前にお問い合わせ下さい。※○数字は、第○曜日

### 【編集後記】

年度末となり、今年度も無事に締めくくることができることに感謝申し上げます。  
さて、今号では、当院の大きな特色である成人リハビリ部門をご紹介させていただきました。  
当院は、高度・専門的なリハビリ医療や福祉との連携により総合的なリハビリテーションを推進しております。来年度も引き続き、当院の魅力を発信していきたいと思っております。どうぞ期待!!

相談支援科 帯刀 長勝

### 【お問い合わせ】

社会福祉法人 富山県社会福祉総合センター  
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター  
地域医療福祉連携室

〒931-8517 富山県富山市下飯野36番地  
電話 076-438-2233(代) FAX 076-438-8463

直通電話 **076-438-2207**

ホームページ <https://www.toyama-reha.or.jp>  
E-mail [renkeisitu@toyama-reha.or.jp](mailto:renkeisitu@toyama-reha.or.jp)



病院の情報を  
もっと知りたい方は  
ホームページに  
アクセスしてね



# 地域医療福祉 連携室だより

Toyama Prefectural Rehabilitation Hospital & Support Center for Children with Disabilities

富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

29号

2026年3月



リハビリテーション科  
浅野 晴香



リハビリテーション科  
影近 謙治

富山県リハビリテーション病院・こども支援センターは、日本海側では唯一の総合リハビリテーションセンター内にある基幹病院です。小児から高齢者までを対象として、入院での集中的なリハビリテーション治療を中心に、医療保険での外来リハビリテーション、介護保険の通所リハビリテーション、また高志訪問看護ステーションからの訪問リハビリテーションも提供しています。

当院の回復期リハビリテーション病棟(計100床)は、1984年に北陸で初めて開設され、急性期病院等での治療後に、集中的なリハビリテーション治療を希望される方からの相談を受け、早期にシームレスな受け入れを行っています。脳・脊髄障害、骨・関節障害、神経疾患、各種急性期疾患治療後の廃用症候群などが対象で、

年齢を問わず、富山医療圏外/県外からの入院も多数実績があります。認知機能が低下した症例や、日常生活動作の介助量が多い症例も多く受け入れています。入院時には多職種で患者様の病態や障害、生活環境、希望を把握します。365日のリハビリテーション治療(平均2時間/日以上、最大3時間/日)を提供しており、患者様の日常生活動作能力・自立度、認知/高次脳機能等が改善し、安心して退院後の生活を迎えられることを目標に、職員一丸となって取り組んでいます。

一般病棟では、疾病の種類・病状経過・医学管理の点から回復期リハビリテーション病棟の入院基準を満たさない方にも、医学管理を継続しながら体調に応じて充実したリハビリテーション治療を受けていただけるよう努めています。

両病棟とも、急性期からの医学管理を継続し、可能な限り、内服薬の整理、気管切開・経管栄養・膀胱留置カテーテル等からの離脱も試みしています。外来診療科(精神科、耳鼻科、皮膚科、泌尿器科、眼科、歯科等)とも連携し、適宜必要な治療を受けていただけます。また、整形外科等では、疾病によっては当院での手術と術後のリハビリテーション治療を一つの病院で一貫して提供することも可能です。

1階のリハビリテーション室では、従来の治療器具・トレーニングマシンに加え、電気刺激装置(IVES®)、拡散型圧力波治療器、安全懸架装置(TAN・POPO®)、上肢用ロボット型運動訓練装置(ReoGo®-J)、リハビリテーション支援ロボット(ウエルウォーク®)、仮想現実を用いたリハビリテーション用訓練装置(mediVRカグラ®)など、先進の治療機器も備えており、最新のニューロリハビリテーションを実施し、患者様の病状によってさらに効果的なリハビリテーション治療を行えるよう努めています。病院周囲の屋外道路や、花壇・畑のあるテラスなど、外の光を浴びながら気分よく訓練できる環境も備えています。

退院後の生活の場や、必要物品・サービスの導入についても、個々のニーズを把握しながら調整を行います。必要に応じてご家族への介護指導、介護/相談支援専門員や退院後の利用施設職員も参加しての自宅訪問や退院前カンファレンスなども行っています。若年・壮年の方の場合は退院後の機能回復や社会復帰に向けて、併設の障害福祉サービス(自立支援、就労支援、高次脳機能障害支援センター事業等)へのご紹介も行っています。専門外来でも、高次脳機能障害・身体障害等に応じ、退院後の高次脳機能障害支援、ボツリヌス療法、義肢装具診察などで支援しています。

また、当院での入院歴にかかわらず、外来リハビリテーション、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションも提供しています。対象は多岐にわたり、通常の介護保険では対応できない、若年での障害や難病とともに生きる方や、脳血管障害等の後の自動車運転再開希望者も支援しています。中途障害とともに自宅で生活を送っている方が、より安心安全で快適な生活を維持していけるよう、個性のある細やかな目標設定と訓練・指導を行えるよう、日々努力しています。

今後も地域の医療機関の皆さまと連携しながら、だれもが日常生活や社会的活動を再獲得し、よりよい生活を取り戻すための質の高い治療の提供に努めていきます。どうぞお気軽にご相談ください。

## 成人リハビリ部門の特色



### 1 安全懸架装置

筋力低下や荷重時痛がある患者さんが、体重を免荷しながら積極的に立位や歩行練習を行えます。転倒しないため、患者さんだけでなくセラピストも安心して練習できます。天井レールタイプと移動可能タイプがあります。

### 2 ウェルウォークWW-1000

脳卒中等による下肢麻痺のリハビリを支援するロボットです。運動学習理論に基づき、患者の回復に合わせた最適な負荷調整で歩行練習を効率的に行うことができます。これからも多くの方に質の高いリハビリを提供する手段の一つとして役立てていきます。

### 3 三次元動作分析装置

三次元動作分析装置は、カメラで身体の動きを立体的に計測し、関節運動や歩行を数値化する技術です。当院では定期評価として取り入れ、日常の臨床に加え、学会発表や論文執筆のデータとしても活用しています。

### 4 展望ステップ

展望ステップはリハビリテーション用の階段として使われており、一面がガラス張りのため景色が良いのが特徴です。階段には昇り降りしやすいように低めの段差設定やノンスリップ加工、両側に身長に合わせて使える2つの手すりが設置されています。階段を昇った先で見ることが出来る立山連峰は格別です。

### 5 mediVRカグラ®

VR機器とカグラシステムを搭載したPCで構成された医療機器です。リハビリテーションにおけるVR技術は有効性が検証され、注目が高まっています。mediVRカグラ®には、適応疾患を選ばず、安全に行えるという特徴があります。

### 6 運転操作能力検査用シミュレータ DS-7000R

実車に近い操作感で安全に練習や運転適性があるかの評価が可能です。左足アクセルペダルや手動装置での操作練習も可能なため、幅広い障害への運転支援に利用しています。令和6年度の回復期リハビリ棟に入院した患者さんの運転評価支援は137件ありました。

### 7 上肢ロボット型運動訓練装置 ReoGo®-J

ReoGo®-Jは、上肢の反復運動をサポートするリハビリ支援ロボットです。肩や肘の到達運動を中心に、アシスト量を細かく調整できるため、自主的な運動を引き出すことができ、特に中等度の上肢麻痺の機能回復を効果的に促せるとされています。

### 8 畑

春から秋にかけて様々な野菜や花を育てています。畑仕事に詳しい患者さんに、うまく育てるコツを教えてもらいながら、新しい野菜の栽培に毎年チャレンジしています。植物の成長や収穫をともに喜び、役割を持つことを通して、患者さんの自信やリハビリへの意欲を引き出していきます。

成人のリハビリを担当する「リハビリテーション療法部 成人療法課」は、理学療法士29名、作業療法士29名、言語聴覚士10名が在籍しています。従来から行われてきた筋力増強練習、日常生活動作練習などに加え、新しい機器を用いた電気刺激、ロボット練習などのリハビリも提供しています。



### 9 IVES-Pro

IVES-Proは患者自身が発した微弱な筋活動を検知し、その強さに応じた電気刺激を加えることで、自然な運動を引き出すことができる電気刺激装置で、2025年に導入しました。従来の電気刺激療法は一定のリズムで刺激を与える方法が主流でしたが、IVES-Proは使用者の「動かそうとする意志」をトリガーにできるため、「自分で手を動かしている」という感覚を高めることができます。

### 10 ショックウェーブ (Shock Wave)

2025年末から拡散型体外衝撃波 (Shock Wave) を導入し、主に痙縮がある方のリハビリ治療に用いています。筋や腱に衝撃波を当て、こわばった手足を一時的に柔らかくしたり、痛みを抑えたりします。手足の動きが改善するため、さまざまな日常生活動作やリハビリ治療を行いやすくなることが期待できます。

### 11 ジェントルスティム

頸部に微弱な電流を流し、咽喉頭の感覚を向上させます。嚥下反射惹起遅延の改善が期待され、水分のとりみ軽減を目指します。弱い刺激なので他の訓練を行いながら使用できます。

### 12 舌圧測定器

舌での押しつぶしの強さを測定します。口腔内で食べ物をつぶす力をみたり、相関があるとされる嚥下筋力の推定にも利用します。

### 13 バイタルスティム

頸部に比較的強めの電流を流し、嚥下関連筋群の筋力増強のために使用します。飲み込む力を強くして、咽喉頭残留の減少などを目指します。腹筋などに使うEMSの喉ver.のイメージです。

### 14 sRED (エスレッド)

嚥下時に抵抗を加えて、筋力増強訓練を行う道具です。頸部に巻いたバルーンを膨らませた状態で嚥下することで、喉頭挙上運動に抵抗負荷がかかり、喉頭挙上や咽喉頭収縮にかかわる筋力の向上が期待されます。

### 15 嚥下造影検査 (VF)

造影剤を混ぜた模擬食品を食べ、X線透視下で口から食道への流れを記録します。咀嚼から嚥下まで一連の流れを確認しやすく、誤嚥の有無も見分けやすいという特徴があります。

### 16 嚥下内視鏡検査 (VE)

内視鏡を鼻から挿入し、咽喉頭の形や動きを直接観察して嚥下機能を評価します。ベッド上で実施でき、検査食も実際の食事や患者さんの希望するものを使って行えることが特徴です。